

防火対象物使用開始届出書

② 牧の原消防署長様		① 令和〇〇年〇〇月〇〇日			
③ 住所 〇〇県〇〇市1-1		届出者氏名 印西 太郎 (印)			
電話 0476-〇〇-〇〇〇〇					
所在地	④ 千葉県印西市〇〇1-2		電話	〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇	
名称	④ 牧の原スーパー	主要用途	⑤ 4項		
建築確認年月日	⑥ 令和年〇〇月〇〇日	建築確認番号	⑥ 第〇〇〇〇〇〇号		
消防同意年月日	⑦ 令和年〇〇月〇〇日	消防同意番号	⑦ 第〇〇〇〇〇〇号		
工事着手年月日	⑧ 令和〇〇年〇〇月〇〇日	工事完了(予定)年月日	⑧ 令和〇〇年〇〇月〇〇日	使用開始(予定)年月日	⑧ 令和〇〇年〇〇月〇〇日
他の法令による許可	⑨ 消防法令以外の法令による許認可を受けている場合のみ記入してください。				
敷地面積	⑩ 9,000.12m <sup>2</sup>	建築面積	⑩ 3,100.00m <sup>2</sup>	延べ面積	⑩ 6,100.00m <sup>2</sup>
最高高さ	⑩ 19.23m	軒高さ	⑩ 18.42m	令8区画	⑪ 有・無
収容人員		公開時間または従業員時間			
従業員数	⑫ 50人	客数	⑫ 500人	⑬ 9時 △△分から ⑬ 23時 □□分まで	
屋外消火栓・動力消防ポンプ・消防用水の概要	⑭				
その他の必要な事項	⑮ ※1階普通階 2階無窓階				
※ 受付欄			※ 経過欄		

防火対象物棟別概要追加書類

用途	⑬ 耐火構造		消防用設備等の概要				特殊消防用設備等の概要
	種別	構造	消火設備	警報設備	避難設備	消火活動上必要な施設	
⑬ 1階	3,100m <sup>2</sup>	物販店舗	消火器 スプリンクラー設備	自動火災報知設備 非常放送設備	誘導灯		
2階	3,000m <sup>2</sup>	物販店舗	消火器 スプリンクラー設備	自動火災報知設備 非常放送設備	誘導灯 避難器具	排煙設備	
階							
階							
階							
階							
階							
計	6,100m <sup>2</sup>						

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A3とすること。
- 2 同一敷地内に2以上の棟がある場合には、棟ごとに「別紙防火対象物棟別概要追加書類」に必要な事項を記入して添付すること。
- 3 法人にあっては、その名称、代表者氏名、主たる事務所の所在地を記入すること。
- 4 建築面積及び延べ面積の欄は、同一敷地内に2以上の棟がある場合には、それぞれの合計を記入すること。
- 5 消防用設備の概要欄には、屋外消火栓、動力消防ポンプ及び消防用水以外の消防用設備等の概要を記入すること。
- 6 ※印の欄は、記入しないこと。
- 7 防火対象物の配置図、各階平面図、立面図、断面図及び消防用設備等の設計図書(消火器具、避難器具等の配置図を含む。)を添付すること。

※備考部分に注意して下さい。

## 記入要領

①	届出日を記入してください。
②	宛先欄は届け出先の消防署長を記入してください。 (例) 牧の原消防署長、白井消防署長
③	所有者（テナントの場合は占有者）の住所、電話番号及び氏名を記入してください。押印は不要です。
④	所在地 使用を開始する防火対象物の所在地を記入してください。 電 話 使用を開始する防火対象物の電話番号を記入してください。 名 称 使用を開始する防火対象物の名称を記入してください。
⑤	使用を開始する防火対象物の、消防法施行令別表第1に掲げる防火対象物の用途のうち、該当するものを記入してください。
⑥	確認検査機関による建築確認の年月日、建築確認番号を記入してください。 計画変更があれば、その建築確認情報を追加記入してください。
⑦	消防同意の年月日、消防同意番号を記入してください。
⑧	工事着手年月日 防火対象物の工事に着手した日を記入してください。 工事完了年月日 防火対象物の工事が完了した日を記入してください。 使用開始（予定）年月日 防火対象物の使用を開始する日を記入してください。 使用を開始する7日前までに届出が必要です。
⑨	消防法令以外の法令による許認可を受けている場合のみ記入してください。
⑩	建物の各種面積、高さを記入してください。面積については、小数点第2位まで記入してください。
⑪	平成7年3月31日消防予第53号通知の構造等による消防法施行令第8条の区画の該当の有無を○か□で囲ってください。
⑫	収容人員（消防法施行規則第1条の3をもとに） 従業員数、客数を記入してください。
⑬	公開時間または従業時間を記入してください。
⑭	屋外消火栓・動力消防ポンプ・消防用水を設置している場合は該当する設備を記入してください。 例) 消防用水 棟番号1号：耐火建築物 必要水量60m <sup>3</sup> （水槽①20m <sup>3</sup> 、水槽②40m <sup>3</sup> ）
⑮	有窓無窓判定について記入してください。 構造、内装制限等による消防用設備の緩和措置があれば記入してください。 消防法施行令第32条、火災予防条例第17条の3における特例認定を受けている場合はその内容を記入してください。 例) 消防法施行令第11条第2項適用 主要構造部耐火構造、難燃材仕上げ
⑯	防火対象物の棟について、棟の名称、消防法施行令別表第1に掲げる防火対象物の用途、用途名称を記入してください。
⑰	防火対象物の構造等（耐火構造、準耐火構造、その他構造）を記入してください。
⑱	各階の面積、用途及び消防用設備の設置状況を記入してください。
⑲	敷地内にある棟ごとに番号を記入してください。